



認 定 書

国住参建第 3416 号
令和 6 年 12 月 25 日

ニチハ株式会社
代表取締役社長 吉岡 成充 様

国土交通大臣 中野 洋昌



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0707-1
2. 認定をした構造方法等の名称
アクリル系樹脂塗装／パルプ繊維混入セメント板
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

管理番号 NICHHA・F-



1. 材料名

(別添)

アクリル系樹脂塗装／パルプ繊維混入セメント板

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様			
形 状	1), 2)のうち、いずれか一仕様とする			
	1)		2)	
	平板		溝付板(表面凹)	
表 面 形 状	1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1)平滑 2)エンボス(最大深さ：4mm)※1 ※1：基材厚さ8mm以上を満足すること(別添 4. 構造説明図のt2)			
100cm ² あたりの 表 面 積(cm ²)	平滑	エンボス	平滑	エンボス
	100	110以下	166以下	173以下
厚 さ(mm)	12.0 _{±1.0} ～20.0 _{±1.25}		12.0 _{±1.0} ～20.0 _{±1.25}	
か さ 比 重	1.10 _{±0.18}		1.05 _{±0.15} ～1.10 _{±0.18}	
質 量(kg/m ²)	13.2 _{±3.1} ～22.3 _{±4.8}		12.6 _{±3.1} ～21.3 _{±4.8}	

3. 材料構成

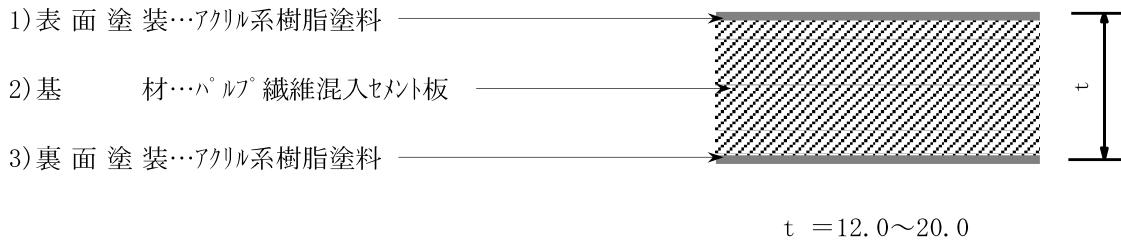
項 目	仕 様
表 面 塗 装	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする。</p> <p>(1)アクリル系樹脂塗料</p> <ul style="list-style-type: none"> 質量180_{±15}g/m²(固形量)以下 (有機質量120_{±10}g/m²以下) 組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> アクリル系樹脂……………30～67 無機質系顔料(酸化チタン等)……………33～70 <p>(2)アクリル系樹脂塗料</p> <ul style="list-style-type: none"> 質量180_{±15}g/m²(固形量)以下 (有機質量108_{±10}g/m²以下) 組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> アクリル系樹脂……………15_{±2}～85_{±8} 無機質系顔料(酸化チタン等)……………0～85_{±8} 無機質系充てん材(炭酸カルシウム等)0～85_{±8} <p>ただし無機質系顔料と無機質系充てん材の合計は15以上とする</p>

項 目	仕 様												
基 材	<p>パルプ繊維混入セメント板：1), 2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 平板</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厚さ$12.0_{\pm 1.0}\text{mm} \sim 20.0_{\pm 1.25}\text{mm}$・ 質量$13.2_{\pm 3.1}\text{kg}/\text{m}^2 \sim 22.0_{\pm 4.8}\text{kg}/\text{m}^2$ (有機質量$3.08_{\pm 0.66}\text{kg}/\text{m}^2$以下)・ かさ比重$1.10_{\pm 0.18}$, 真比重$1.10_{\pm 0.18}$, 組成(質量%)^{※2} <p>2) 溝付板(表面凹)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厚さ$12.0_{\pm 1.0}\text{mm} \sim 20.0_{\pm 1.25}\text{mm}$・ 質量$12.6_{\pm 3.1}\text{kg}/\text{m}^2 \sim 21.0_{\pm 4.8}\text{kg}/\text{m}^2$ (有機質量$2.94_{\pm 0.63}\text{kg}/\text{m}^2$以下)・ かさ比重$1.05_{\pm 0.15} \sim 1.10_{\pm 0.18}$, 真比重$1.10_{\pm 0.18}$, 組成(質量%)^{※2}・ 表面凹形状…溝底幅：0.5mm～20.0mm, 溝上部幅：1.0mm～34.0mm 溝深さ：4mm以下^{※3} 溝角度：①, ②のうち、いずれか一仕様とする ①$30^{\circ} \sim 80^{\circ}$ ②$90^{\circ}$ ピッチ：[縦]15mm以上[横]30mm以上 <p>※2：組成(質量%)</p> <table><tr><td rowspan="5">{</td><td>セメント質原料(セメント, けい酸質原料, せっこう等)…</td><td>$65_{\pm 6} \sim 82_{\pm 8}$</td></tr><tr><td>無機質系混和材(マイカ等)……………</td><td>$7_{\pm 2} \sim 20_{\pm 3}$</td></tr><tr><td>有機質系繊維(パルプ等)……………</td><td>$10_{\pm 2} \sim 12_{\pm 2}$</td></tr><tr><td>有機質系混和材(パルプ粉等)……………</td><td>$0 \sim 2_{\pm 1}$</td></tr><tr><td>無機質系繊維(ガラス繊維等)……………</td><td>$0 \sim 1_{\pm 1}$</td></tr></table> <p>※3：基材厚さ8mm以上を満足すること(別添 4. 構造説明図のt2)</p>	{	セメント質原料(セメント, けい酸質原料, せっこう等)…	$65_{\pm 6} \sim 82_{\pm 8}$	無機質系混和材(マイカ等)……………	$7_{\pm 2} \sim 20_{\pm 3}$	有機質系繊維(パルプ等)……………	$10_{\pm 2} \sim 12_{\pm 2}$	有機質系混和材(パルプ粉等)……………	$0 \sim 2_{\pm 1}$	無機質系繊維(ガラス繊維等)……………	$0 \sim 1_{\pm 1}$	
{	セメント質原料(セメント, けい酸質原料, せっこう等)…		$65_{\pm 6} \sim 82_{\pm 8}$										
	無機質系混和材(マイカ等)……………		$7_{\pm 2} \sim 20_{\pm 3}$										
	有機質系繊維(パルプ等)……………		$10_{\pm 2} \sim 12_{\pm 2}$										
	有機質系混和材(パルプ粉等)……………		$0 \sim 2_{\pm 1}$										
	無機質系繊維(ガラス繊維等)……………	$0 \sim 1_{\pm 1}$											
裏 面 塗 装	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする。</p> <p>(1) アクリル系樹脂塗料</p> <ul style="list-style-type: none">・ 質量$90_{\pm 9}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$60_{\pm 5}\text{g}/\text{m}^2$以下)・ 組成 (質量%) <table><tr><td rowspan="2">{</td><td>アクリル系樹脂……………</td><td>$30 \sim 67$</td></tr><tr><td>無機質系顔料(酸化チタン等)……………</td><td>$33 \sim 70$</td></tr></table> <p>(2) アクリル系樹脂塗料</p> <ul style="list-style-type: none">・ 質量$90_{\pm 9}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$54_{\pm 5}\text{g}/\text{m}^2$以下)・ 組成 (質量%) <table><tr><td rowspan="3">{</td><td>アクリル系樹脂……………</td><td>$15_{\pm 2} \sim 85_{\pm 8}$</td></tr><tr><td>無機質系顔料(酸化チタン等)……………</td><td>$0 \sim 85_{\pm 8}$</td></tr><tr><td>無機質系充てん材(炭酸カルシウム等)……………</td><td>$0 \sim 85_{\pm 8}$</td></tr></table><p>ただし無機質系顔料と無機質系充てん材の合計は15以上とする</p>	{	アクリル系樹脂……………	$30 \sim 67$	無機質系顔料(酸化チタン等)……………	$33 \sim 70$	{	アクリル系樹脂……………	$15_{\pm 2} \sim 85_{\pm 8}$	無機質系顔料(酸化チタン等)……………	$0 \sim 85_{\pm 8}$	無機質系充てん材(炭酸カルシウム等)……………	$0 \sim 85_{\pm 8}$
{	アクリル系樹脂……………		$30 \sim 67$										
	無機質系顔料(酸化チタン等)……………	$33 \sim 70$											
{	アクリル系樹脂……………	$15_{\pm 2} \sim 85_{\pm 8}$											
	無機質系顔料(酸化チタン等)……………	$0 \sim 85_{\pm 8}$											
	無機質系充てん材(炭酸カルシウム等)……………	$0 \sim 85_{\pm 8}$											

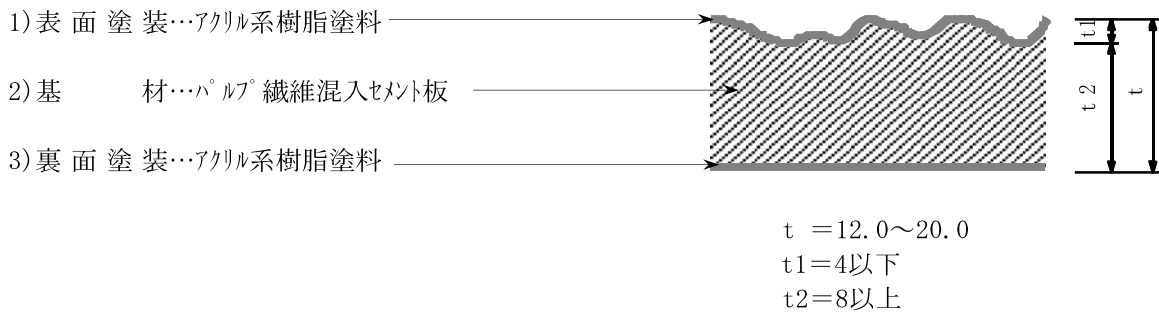
4. 構造説明図(寸法単位：mm)

◆平板

(平滑)

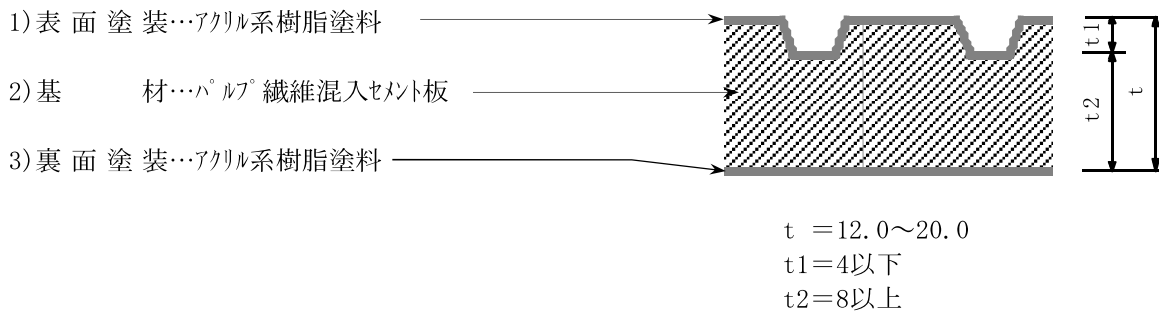


(エンボス：最大深さ4mm，100cm²あたりの表面積110cm²以下)



◆溝付板(表面凹)

(平滑，100cm²あたりの表面積166cm²以下)



表面凹形状：溝底幅：0.5～20.0，溝上部幅：1.0～34.0

ピッチ[縦]：15以上、且つ、別添 4. 構造説明図のt3を満足すること

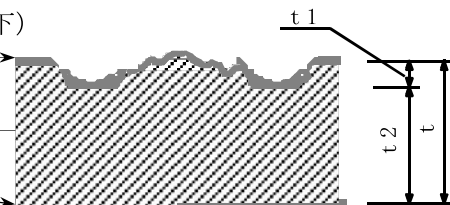
[横]：30以上、且つ、別添 4. 構造説明図のt4を満足すること

(エンボス：最大深さ4mm，100cm²あたりの表面積173cm²以下)

1) 表面塗装…アクリル系樹脂塗料

2) 基材…パルプ繊維混入セメント板

3) 裏面塗装…アクリル系樹脂塗料



$t = 12.0 \sim 20.0$

$t1 = 4$ 以下

$t2 = 8$ 以上

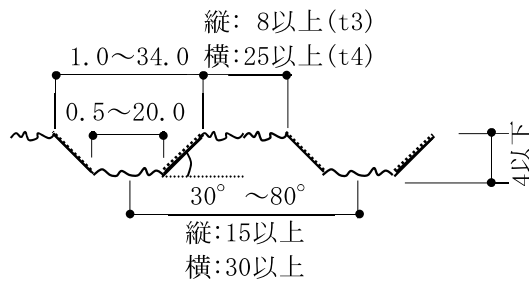
表面凹形状：溝底幅：0.5～20.0，溝上部幅：1.0～34.0

ピッチ[縦]：15以上、且つ、4. 構造説明図のt3を満足すること

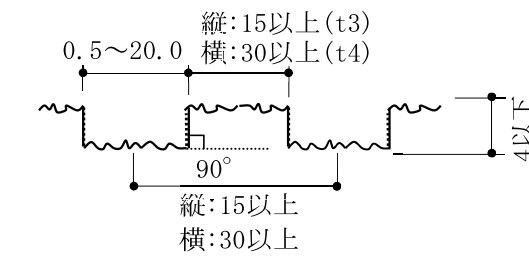
[横]：30以上、且つ、4. 構造説明図のt4を満足すること

・溝形状の例(寸法単位：mm)

(溝角度30°～80°の場合)



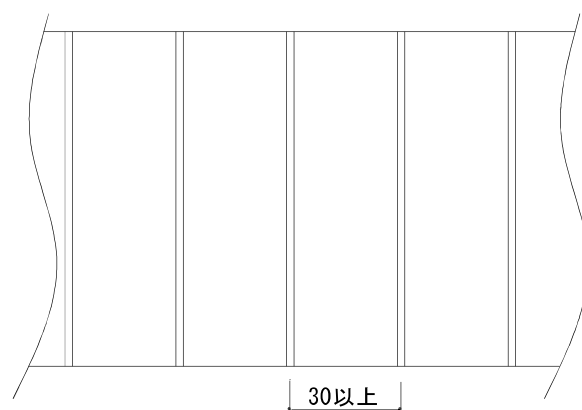
(溝角度90°の場合)



溝の配置(例)

平面図

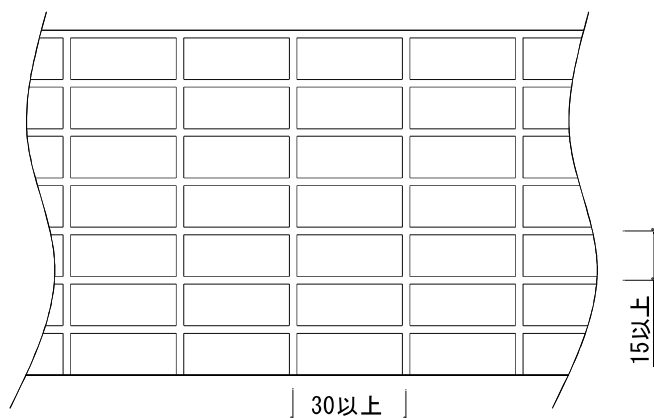
＜横方向に長い製品形状の場合＞



溝が1方向の場合(1)

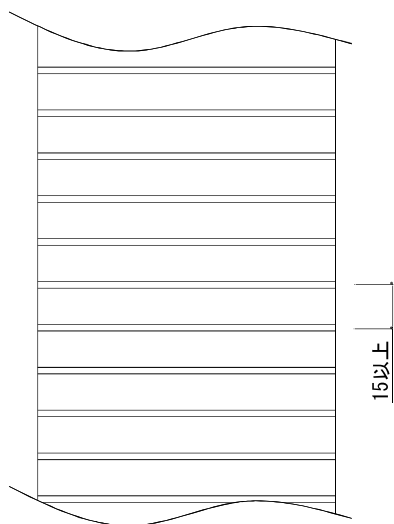


溝が1方向の場合(2)

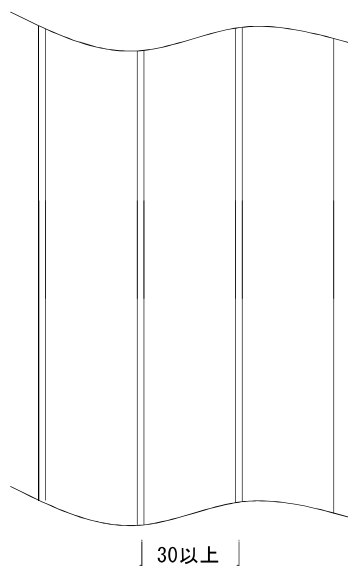


溝が2方向の場合

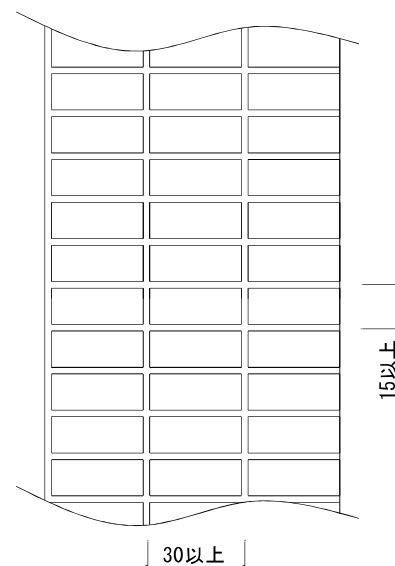
＜縦方向に長い製品形状の場合＞



溝が1方向の場合(1)



溝が1方向の場合(2)



溝が2方向の場合

5. 注意事項

本申請仕様を施工するに当たっては、所定の防火性能が損なわれないように材料端部及び目地部の処理を適切に行う必要がある。